

※対面+オンライン形式により開催します。

- ・定員は対面 40 名、オンライン 60 名とし、それぞれ先着順のもと個人会員と特別会員から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。1 名/社のお申込でお願いします。参加人数に余裕が生じる際は非会員の方も受け付けます。
- ・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には所定の作業の終了後に土木学会継続教育 (CPD) に関する参加証明書を交付しますが、他団体への単位申請が認められないケースがあるとのことです。他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

令和 3 年 7 月 8 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 169 回）のご案内（対面+オンライン形式）

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 3 年 7 月 30 日（金）14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：(対面)建設業協会佐賀 3F 会議室+(オンライン)Microsoft Teams

話 題：軟弱地盤改良の品質管理に関する現場的一考察～qu 管理の問題と針貫入試験による補完～

講演者：佐賀大学名誉教授/軟弱地盤研究所所長 三浦 哲彦 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

地盤改良コラム・スラブの品質管理は、普通、一軸圧縮強度 qu によっている。コラムの場合、500 本未満であれば 3 本を抽出、採取コア中から供試体を取り出し qu 試験を行う。供試体は固結度のよい箇所から切り出すことが多く、結果として健全なコラム柱として評価されることも少なくない。部分的に強度不全の箇所や” ダマ” があっても、注意深い観察者でない限り、記述されない場合もあると側聞する。

昨年、高盛土道路の舗装面にクラックが入った原因を検討する機会を得た。その中で、 qu 試験だけに頼る品質管理には限界があることに改めて気づいた。本講演では、 qu 試験を補完して針貫入試験を適切に併用すれば、ある程度はリスク回避できることを示す。この経験を含めて、施工者の声に耳を傾けていれば、軟弱地盤の設計・施工・管理の面で改善すべきことに早く気づいたはずだ、と痛感した例を紹介する。

※参加申込について

参加希望の方は 7/23（金）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

なお、オンラインでの受講の場合、お一人につき 1 つメールアドレスが必要になります。1 つのメールアドレスで複数人のお申込はできませんので、ご了承ください。

※参加費について

当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費（1,000 円）が必要です。対面での受講をされる方は当日の受付でお支払いください。オンラインでの受講の方は後日請求書をお送りしますので指定の口座にお振込みください。

※参加証明書について

土木学会の CPD プログラムに認定されています。

ご必要の方には研究会の終了後に Microsoft Forms を用いて下記の各項目に関するご回答をいただきます。内容確認でき次第、参加証明書をお送りします。なお、コピー&ペースト類似度チェックツールを用いてご回答の内容を照合し、コピー&ペーストと判断されたご回答については参加証明書を発行いたしかねますので、くれぐれもご注意の上、ご自身のご理解によりご入力ください。

- a) ご氏名
- b) おふりがな
- c) ご所属先
- d) ご役職
- e) ご所属先郵便番号（兼・参加証明書郵送先）
- f) ご所属先住所（兼・参加証明書郵送先）
- g) ご所属先 TEL
- h) ご所属先 FAX
- i) 講演内容のポイント（最低 100 文字）
- j) 講演内容に関する質問・感想（最低 100 文字）
- k) その他

=====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸 3182

（公財）佐賀県建設技術支援機構内

=====